



権現山山頂から油木の街並み 7月12日撮影



# 柏床よしおの よっしー通信

2022年7月 7号

発行 柏床由夫後援会

神石高原町油木乙23番地2 Tel.(0847-82-2022)

<http://ww4.tiki.ne.jp/~kashiwatoko/>

Email [kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp](mailto:kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp)

## 【6月定例会】

一般会計 3億4056万円を補正

やまびこ来見館整備費

コロナ対策事業など

6月定例会は、6月15日から24日まで開かれ、特別会計を含む補正予算総額、4億1827万円を補正したほか、工事契約の締結、財産の取得、条例改正など19議案と議員発議2議案が原案どおり可決。一般質問は8人の議員が行いました。

### 旧くるみ保育所を改修し

#### 井関地区の放課後児童クラブ施設へ

かねてから要望のあった、井関地区での放課後児童クラブが、本年度から実施となります。本年、12月末までに、旧くるみ保育所を改修し、来年1月から「やまびこ来見館」として運営する運びとなりました。改修費は2339万円を補正し総額は6539万円、来年1月からの運営費の予算として423万円が補正されました。運営は公募となっています。



やまびこ来見館として改修される旧くるみ保育所

### 【この他の補正予算】

- ・油木コミュニティセンタートイレ改修費554万円
- ・陽光の里文化ホール空調設備改修費1969万円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業総額3963万円
- ・町立神石へき地診療所空調設備改修費517万円
- ・簡易水道施設維持管理経費1222万円
- ・飲料水供給施設維持管理経費344万円
- ・地域おこし協力隊経費100万円
- ・農業生産団体等補助経費230万円
- ・プレミアム付こづげん通貨10%を加算し20%に500万円
- （発売7月11日から）
- ・キヤスレス決済ポイント付与（ペイペイ）還元率20%8000万円
- （9月から11月・期間内に予算額に達した場合終了）
- ・農道等維持管理経費3100万円
- ・ため池整備事業180万円
- ・大規模盛土造成地調査経費1000万円
- ・町道維持管理経費3600万円
- ・単独町費町道整備事業町道有元高水池線800万円
- 町道上組城江線2800万円
- ・宝くじ助成事業100万円
- ・庁舎維持管理経費160万円
- ・英語指導助手（ALT）活動事業73万円
- ・小学校給食施設管理運営経費（食材費物価高騰対策）280万円
- ・中学校給食施設管理運営経費（食材費物価高騰対策）180万円



LED照明に整備される、たれかやトンネル



## 柏床議員の一般質問

### 町内保育所、学校教育現場の状況について

#### 問 各小中学校に教職員

の不足はあるのか。

#### 答 現時点で小中学校において、教職員の未配置校はない。

柏床 昨今、教師不足・なり手不足の状況が報道されています。本町では生徒の減少で複式学級が増えつつある状況ですが、現在、各小学校・中学校の教職員の不足があるのか。

教育長 本町では、学級数等に応じた基礎定数は、現時点で小中学校において、

教職員の未配置校はありません。今後、教職員の人材確保については、全体的な課題であり、本町においても、県教育委員会と緊密に連携しながら、教職員の未配置が生じないよう取り組んでいきたいと考えています。柏床 教職員の長時間労働の課題が取りざたされて来ましたが、学校教育現場の働き方改革について各学校の現状は。

教育長 神石高原町においても、令和3年に「学校における働き方改革取組方針」を示している。そして、業務を行う時間の上限を示し、「入校・退校時刻記録表」により在校時間を把握するとともに、在校時間の長時間化を防ぐため、業務分担の見直しや適正化、必要な環境整備等の取組みを実施している。また、子供たちを取り巻く様々な課題等に対応するため、スクールソーシャルワーカー（SSW）等の専門家を配置し支援策を充実

するとともに、事務的業務の負担軽減策として、スクールサポートスタッフ（SSS）や校務支援システム等ICTを活用し教職員の業務の効率化を図っている。柏床 文部科学省は本年5月23日、各教育委員会等に対し、コロナ対応でのマスク着用の緩和方針が示したが、本町の対応は。

教育長 本町においては、基本的な感染対策として、三密の回避、人との距離の確保、マスクの着用、手洗い等の手指衛生、換気等を今後も徹底していく。そして、今回の通知により、学校生活における児童生徒のマスク着用について、地域の感染状況等を考慮しつつ、十分な身体的距離等が取れる場合、運動場、体育館、プール等を含め体育の授業の際には、マスクの着用は必要ない。また、熱中症リスクの高い夏場には、スクールバス利用以外の登下校については、会話を控える等の指導をしつつ、マ

スク着用は必要ないと考えている。今後、学校教育活動において、身体的距離が十分とれない場合等については、マスクの着用は引き続き基本的な感染対策であると考えている。



油木小学校、昼休憩の様子

柏床 就学前児についても、マスクの着用方針が示されたが、保育所の現在の対応状況と今後の対応は。

町長 マスクの着用については、令和4年5月20日厚生労働省から「2歳児未満は、引き続きマスク着用は奨めない。2歳児以上は、

オミクロン株対策以前の取扱いに戻す。」と通知された。本町も、この通知を踏まえ、2歳児以上についても他者との身体的距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めないこととしている。ただし、風邪症状がある場合や保護者からの着用希望がある場合などには、可能な範囲でマスク着用することは考えられる。マスク着用をしない場合であっても引き続き、施設内の消毒、手指衛生や換気など基本的な感染症対策を徹底していく。



外で水遊び。こばたけ保育所の子どもたち

## 広島県水道広域連携

**問** 企業団への参加・不参加の検討状況は。

**答** 持続可能な水道事業が大前提。

柏床Ⅱ2月以降の幹事会及び協議会で協議された内容は。

町長Ⅱ4月13日に設立準備協議会幹事会で、企業団の組織・職員体制と職員自身の勤務条件について議題となった。5月には、企業団設立準備担当職員及び県食品生活衛生課職員を町簡易水道施設3か所へ現地案内して協議したほか、収支の推計や今後10年間の事業量について県から3度の説明を受けた。事務的な検討を重ねている。

6月に、事業計画素案に係る事項について担当課長からの説明・回答を受け意見交換を行った。また、来訪された企業局長と面談した。

柏床Ⅱ企業団への参加・不参加の検討状況は。

町長Ⅱ幹事会、協議会で協議された内容と、企業団への参加・不参加の検討状況など、町上下水道運営委員会へも報告している。

このような状況を踏まえ、企業団への参加・不参加の方向性を別途、説明したい。

柏床Ⅱ企業団設立準備担当職員及び県食品生活衛生課職員は何の目的で来られたのか。

町長Ⅱ11月に企業団設立後の事業認可申請が必要のため、企業団に参加が前提ではなく、県として町簡易水道の状況把握のため13カ所の現地確認をされた。



河川を水源とする油木市場浄水場

柏床Ⅱ何を根拠に判断するのか。

町長Ⅱ「推計値を見ながら考えている。持続可能で安全で安心な水の供給が将来にわたってできることが大前提である。

施設整備も、新しい技術が導入されるだろうが、単独導入、広域導入も含めながら持続可能な水道事業について最終的野に考えて提案する。

## 百彩館について

**問** 油木百彩館の、今後のあり方は。

**答** 新しい百彩館のあり方を共に模索したい。

柏床Ⅱ5月25日に有限会社さんわ182ステーションの定時株主総会が開催され、9月末を目途に経営から引くことが決まったが、今後の百彩館の運営は。町長Ⅱ油木百彩館の今後のあり方については、先般開

催されました定時株主総会において、「油木地域の若者、高校生、協働支援センターを中心に、共に新しい店づくりを検討し、協議が整えば今年度9月末を目途に経営から引くこととする。」との方針が示された。

会社としては、9月末まで現状の営業を続け、併せて地域での協議を進めることとされた。

町としては、産直市場としての継続経営が困難であることは理解できますし、会社で実施している地域への説明の中でも、その点については一定程度のご理解を頂いているように伺っている。

設立当初は、産直市場として市場地区の活性化施設の役割を担ってまいりましたが、今後については、現在地域の若者で検討いただいている協議の状況を注視しながら、新しい百彩館のあり方を共に模索していきたいと考えている。

柏床Ⅱさんわ182ステーションが経営を引くなら、町の施設であるから、町が活用方法を考えるのではないか。

町長Ⅱ以前から百彩館の経営改善を検討されてきた経過がある。町はこの協議と合わせて、地域の方の意見を聞いて施設の活用に反映したい。

柏床Ⅱコロナ禍の中で1年かけて経営を模索するなど考えられるのは。本年度、百彩館経営補助のため、単独資金を含めた公的資金の投入し来年3月までの経営の考えはなかったのか。

町長Ⅱ会社の方で検討され、総会で提案されたことで私も理解できる。昨年度コロナ対策の国県補助金約1800万いただいたて、150万円の黒字となっている。今後、継続する段階で、道の駅さんわ182ステーションの経営が危うくなる判断をされた。私もそう思う。

## 【つづき】

百彩館の新たな使い方をみんなで模索しようという動きがありますから、意見を反映した、新しい拠点づくりを進めたい。

柏床Ⅱ先ほどの同僚議員の答弁に、百彩館は、集える施設、ニーズに応える施設にしたいと答弁があったが、油木地域の住民、特に高齢者の方らは非残してほしいと切実な要望があった。

油木高校の苗や花は授業成果として出荷できる施設である。高校の支援でもある。さんわ182まで出荷することにはならないのでは。消費者にある程度ニーズがあれば部門別、地域の野菜、米、花、苗、漬物などは基本的需要がある。売り場の1/2でも1/3にしてもニーズのあるところは町として考えて残していくべきではないか。

町長Ⅱそういう意見を聞きながら店づくり、活用を考えたい。地域の意見も大切にして検討したい。

柏床Ⅱニーズには答えていただけないことへの理解でよいか。

（町長、同調）

また、百彩館だけへの出荷者が10人おられるが、閉鎖されると、大半は高齢なので出荷を辞められるのではないかと思う。

9月末まで、活用が決まらなかつたらどうなるのか。町長Ⅱ方向が決まれば、改装のため一時期閉めることになると思うが、方向が定まらなければ、百彩館は道の駅から経営が離れることから、町が運営して行く形になると思うが、全く閉めるか、若しくは今のままで、次の方向が決まるまで継続して行くかになる。

柏床Ⅱ地域の課題解決に向けて、地域おこし協力隊の活用もある。施設を残して有効活用出来るよう考えていただきたい。

閉鎖した時の課題として、加工ラベルを182ステーションまで行かないと発行出来ない課題や、エブリイ

の発券機などある。高校生のナマズ食堂、生花、苗など学習発表の場でもあるし、地域の要望も踏まえて町長の考えは。

町長Ⅱ閉鎖して売却するなどは全く考えていない。地域の方の思いもありますから、そういったものをくみ取りながら、ニーズに応えられるような施設にして行きたい。



今後の、活用が検討される油木百彩館

## 【5月臨時議会】

5月13日（金）に臨時議会が開会され、7議案を審議し、いずれも承認、可決されました。

- 専決処分した事件の承認
- 条例改正
- 工事請負契約の締結2件
- 財産の取得3件

## 【東油木自治振興会】

東油木自治振興会では、神石高原つたえるネットのお世話で、学校法人神石高原学園（インターナショナルスクール）の体験学習交流として、田植え、稲刈り、餅つきを生徒の皆さんと行っています。今年も、もち米が元気に育っています。



## 【6月議会を終えて】

さんわ182ステーションの株主総会で9月末を目途に油木百彩館の経営から撤退することが決まったことについて、住民の方から「百彩館がなくなったら困る」、「百彩館を残してほしい」など意見をいただきました。

油木百彩館は産直市場としての役割のほか、月1回の油木高校生レストラン、産業ビジネス科の成果発表の場として花きの出荷など油木高校の支援、お盆や彼岸には、里帰りされた方が花を買いに寄られるなど地域の拠点施設としての役割を果たしています。

さんわ182ステーションのリニューアルによるお客の減少、新型コロナウイルス感染症の流行、人口減少などの要因もあり、年々経営が厳しくなってきました。今後の活用を現在検討中です。